

道徳授業 全国のお手本

文部科学省は、姫路市立山陽中(延末)の河野雄司教諭(60)が教壇に立った道徳の授業風景を撮影した。2019年度から中学校で「特別の教科」となった道徳の授業の参考資料として、全国の教諭らに提供する「道徳教育アーカイブ」製作のため、編集後に同省ホームページ(H P)で公開する。

(田村 創)



道徳教育アーカイブ製作のため、授業をする河野教諭(姫路市で)

山陽中・河野教諭 文科省 映像資料公開へ

11年に大津市で起きたいじめによる自殺がきっかけとなり、小学校で18年度、中学校で19年度から道徳が教科化された。

文科省は「『考え、議論する道徳』の授業」への参考にしてほしい」と、優れた授業を撮影、編集した20～30分の映像資料を17年度から作成。これまでに約20編をHPで公開している。

河野教諭はこれまで、姫路市出身でフランスに柔道を広めた川石酒造の助や、同じ校区内にある老舗酒造会社の女性社長を題材にした道徳教材などを作成。21年度には文部科学大臣優秀教職員の表彰を受けている。

山陽中では今月7日に撮影。河野教諭は1年生約40人を対象に、兵庫版道徳教育副読本に収録されている「留さんのボギー」宮本留吉」を題材に授業を行った。

2022年(令和4年)12月10日(土曜日)

毎日新聞

「ゴルフ用語の「パー」や「ボギー」などを説明しながら、

「いや、ボギーや」と申告したか、自分が同じ立っ場だったらどんな行動をとった。

取るかなどを生徒たちから、スコアは自己申告であることなどを紹介。同伴者が「パーやな」と尋ねたところ、留さんがなぜ「いや、ボギーや」と申告したか、自分が同じ立っ場だったらどんな行動をとった。

道徳授業ウェブ公開へ

姫路市立山陽中学校で7日、文部科学省が道徳の推進に生かすためウェブ上で公開する授業の映像撮影があった。河野雄司教諭(60)が県の副読本「留さんのボギー」を題材に、約1時間の授業をした。

河野教諭は同校の道徳教育のリーダーで、独自の教材を作成したり、他校に指導に行ったりしている。県出身で日本プロゴルフ界の草分け的存在、宮本留吉を紹介した副読本を活用し、自身が不

姫路市立山陽中学校 全教員の資料に利な状況に置かれてもうそをつかず、信念を持って誠実に生きた宮本が輝いていたのはなぜかを中心に考えた。

この題材を取り上げると「苦しい時に正直でいると自分に返ってくる」という感想にとどまる生徒が多いという。そのため、授業では生徒一人一人の考えをじっくり聞きながら質問したり、言葉で表しにくい心情を円グラフの割合で示したりしながら、思いを引き出



全国の教職員が参考にする資料となる授業に臨む河野雄司教諭—姫路市延末の市立山陽中学校で

撮影された授業は文科省の「道徳教育アーカイブ」で公開され、全国の教職員が授業づくりの参考にしている。

【喜田 奈那】